

〔I〕

次の問題文を読み、後の問いに答えなさい。

1

13

の解答は解答欄にマークしなさい。

不信はたんなる信頼の欠如ではない。わたしたちはときに、相手のことを信頼すべきか、不信を抱くべきか分らないことがある。相手のことをよく知らなくて、その人の能力や意図について判断できずにいるのである。そのように決めかねているときには、わたしたちはその相手を信頼していないが、だからといって不信を抱くわけでもない。

〈a〉、信頼も不信も不適切である場合もある。どちらを選ぶべきか迷っているからではない。たとえば仲のよい友人をパーティに招待したとき、キュウカをとるので行けないと返事をされたら、もちろんがっかりすることだろう。このとき、わたしは友人がそれでもパーティに来てくれるだろうと信頼するだろうか？ そんなことはない。来ることはないと予期される。〈b〉、このことは、わたしが何らかの仕方友人に不信を抱いていることを意味するわけではない。ともかく、友人は誠意をもって自分の事情を説明しているのだから。〈c〉これは、友人がパーティに来ることに関して、信頼していなければ不信も抱いていないという状況にほかならない。来ることはないだろうと、ただそれを予期しているだけのことである。

誰かを信頼するときには、その相手がコミットメントを果たすことを期待している。他方、誰かに不信を抱くときには、その相手がコミットメントをもつと思っているものの、それを果たすことを期待してはいない。わたしの友人はパーティに来ることにコミットしてはいない。その上で、彼女はそれができないと言っている。そもそもコミットメントをもたないのだから、彼女がコミットメントを果たすかどうか、そしてパーティの出席に関して彼女を信頼するか不信を抱くかについては、まったく疑問の余地がない。

不信と、信頼の欠如の区別を強調することは屁理屈のように思われるかもしれない。しかし、この区別は信頼に関わるわたしたちの道徳的判断にとって中心をなすものである。誰かに不信を抱くということとはその相手を低く評価することであり、些細なことであれ、何か悪いことをしていると考えることになる。誰かを「信頼に値しない」と言うことは道徳的な批判を投げかけることであって、自分に関しては他人が欲するとおりに行なうことを期待されるのがよいのかとさえ言え、そうでもない。ときには他人にあてにされることなく、一人きりで自ら選択を下したいこともある。常に信頼されたいとは思わないが、信頼に値しないことも望ましくはない。そのようなとき、わたしは信頼の欠如をセツボウする一方、不信を抱かれることで道徳的に非難されることは望まない。だからこそ、不信と、たんなる信頼の欠如を区別することが重要になる。

わたしたちの誰にとっても重要な問題は、誰を、そしてなぜ信頼するかということである。どのような証拠が信頼（あるいは不信）を妥当なものにするのか？ そして、証拠は常に必要とされるのだろうか？

このように考えると、あたかも信頼はコントロールできる範囲にあるかのようになってしまう。わたしたちは証拠を考慮し、つづきに吟味し、何に関して誰を信頼するかを決めるのだと。実際、ときにはそういうこともあるかもしれない。しかし、意識的に選択することなく、あることがらに関して誰かを信頼したり不信を抱いたりすることはメズラしくない。それがきわめて悩ましいこともある。たとえば、パートナーや親友に自分が不信を抱いていると自覚すれば、大きな衝撃にもなつて、それに関する証拠をふりかえつて再点検するかもしれない。逆に、新しい友人や同僚を自分が信頼できると分かれば、どうしてその信頼を感じるのかをうまく言えなくても、うれしい驚きを感じることもなりうる。

この点において信頼と不信は、信念と□に似ている。たとえわたしたちが証拠に基づいて信念を抱こうとしても——実際、そうするべきなのだが——それが必ずしも、証拠を検討し、何に信念を抱くのかを決め、そのことに信念をもつというプロセスになるとは限らない。ほかの活動とは異なり、信念をもつことはわたしたちが直接コントロールできる範囲にはないように思われる。バスを待つかどうかは決められるが、バスがもうすぐ来ると信念をもつかどうかは決められないのである。

(キャサリン・ホーリー『信頼と不信の哲学入門』一部省略・表記改変)

注 1 関わり合い。関与。

問一——線部(アゝエ)と同じ漢字を用いるものを、次の中からそれぞれ一つ選びなさい。

- | | |
|--|--|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">1</div> <p style="text-align: center;">ア</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>① 悪事にカタンする。</p> <p>② スンカ¹を借しんで働く。</p> <p>③ カレイな演技。</p> <p>④ セキニンテンカ²。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">2</div> <p style="text-align: center;">イ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>① ヨユウを持つ。</p> <p>② メイヨある受賞。</p> <p>③ セイサツヨダツ。</p> <p>④ ヨナガに本を読む。</p> </div> <div style="width: 45%;"> </div> </div> </div> </div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">3</div> <p style="text-align: center;">ウ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>① 新聞のシャセツを読む。</p> <p>② セツデンに協力する。</p> <p>③ セツジツな願い。</p> <p>④ 会場のセツビを整える。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">4</div> <p style="text-align: center;">エ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>① 機器をチンシヤクする。</p> <p>② チンジュツ書を提出する。</p> <p>③ チンジュの森。</p> <p>④ 山海のチンミ。</p> </div> <div style="width: 45%;"> </div> </div> </div> </div> |
|--|--|

問二——線部(AゝC)の語句の意味として最も適切なものを、次の中からそれぞれ一つ選びなさい。

- | | | |
|--|---|---|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">5</div> <p style="text-align: center;">A</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>① 感情を前面に出した主張</p> <p>③ 素直な気持ちからの発言</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>② 誰でも納得する理由づけ</p> <p>④ こじつけた言い分</p> </div> </div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">6</div> <p style="text-align: center;">B</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>① 手段もなく</p> <p>③ 意図もなく</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>② 理由もなく</p> <p>④ 準備もなく</p> </div> </div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">7</div> <p style="text-align: center;">C</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>① おおまかに</p> <p>③ ありのままに</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>② 事細かに</p> <p>④ 簡潔に</p> </div> </div> |
|--|---|---|

問三——(aゝc)に入る語の組み合わせを、次の中から一つ選びなさい。

- | | |
|--|---|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">8</div> <p style="text-align: center;">① a しかし — b そして — c また</p> <p style="text-align: center;">③ a また — b しかし — c つまり</p> | <p style="text-align: center;">② a また — b そして — c しかし</p> <p style="text-align: center;">④ a しかし — b また — c ただし</p> |
|--|---|

問四 — 線部Ⅰ「果」の部首として最も適切なものを次から一つ選びなさい。

- 9 ① 木 ② 田 ③ 一 ④ 口

問五 — 線部Ⅱ「それがきわめて悩ましいこともある」とあるが、その理由を説明したものとして最も適切なものを、次の中から一つ選びなさい。

- 10 ① 客観的な証拠と主観的な直感が矛盾しており、どちらを優先すべきか迷うから。
② 信頼に値しない相手を非難できず、自分の真の気持ちを抑制するしかないから。
③ 相手がつコミットメントが曖昧であり、信頼するかどうかの判断ができないから。
④ 意図的な選択や決定をすることなく、自然に信頼や不信を抱いてしまい、困惑するから。

問六 に入る語を、次の中から一つ選びなさい。

- 11 ① 断念 ② 邪念 ③ 疑念 ④ 執念

問七 問題文の内容に合致するものを、次の中から二つ選びなさい。

- 12 ① パーティの例において、友人が来ないだろうと予期することは、その友人に対する不信を抱いていることと同じ意味である。
13 ② 信頼の欠如と不信は異なる概念であり、「信頼に値しない」と評価することには、しばしば相手への倫理的な非難が含まれる。

③ 相手がコミットメントをもたない場合、わたしたちは一般的にその相手に対して不信を抱くことが自然な反応として見られる。

④ 信頼の欠如と不信は日常的に同じ意味で使われることが多いため、両者を厳密に区別する必要性はそれほど高くない。

⑤ 人は絶えず信頼されたいと思っているわけではなく、他者が求めるとおりの行動を常に期待されるのは必ずしも望ましいことではない。

⑥ 証拠に基づいて信念を抱く場合、いつも証拠の検討から決定、そして信念形成という順序だったプロセスを経ることになる。

〔II〕

次の問題文を読み、後の問いに答えなさい。

14

26

の解答は解答欄にマークしなさい。

かつて数年間ほど文芸誌の編集者をしていたのだが、文芸誌が主催する新人賞の応募原稿を読みふけるのは、年に一回必ずやってくる重苦しい仕事だった。積もった段ボールを開け、複数の封筒を机の上に載せ、ハサミで封筒を切り、原稿を取り出し、頭から読み進めていく。二〇〇〇通を超えるほどの応募数だったので、しばらくの間は会社の小さな会議室に籠もりつきりになる。地下にある独房のような小部屋はすっかりユウヘイ^アされた状態で、窓もなければ、人の通りも少ない。ある程度の作品数に絞られた後では複数名が目を通すものの、最初の段階では、最低限のラインを悠々と超えている作品かどうかを個人で判別する。つまり、自分がその小説を退けたら、二度と議論の対象にはなくなるので緊張を強いられ続ける。数年前に定年退職した、とプロフィールにある男性が書く、自分の体験談を下地にしながら、妄想を多量に振りかけた女性部下とのランデブー（あえて死語を使用）を主題とした小説が多いことにうなだれるのは毎年のこと（文芸誌の編集者に聞くと、最近はこちらに増えているそうだ）。そういった欲望に付き合う時間はないので冷たく対応できるものの、もっとも難しいのが「それなりに書けている」小説の判別である。

そもそも小説とは、Xをつけられるものではない。むしろ、Xから離れたところで物語を躍動させたり沈殿^アしたりする自由がどこまでも用意されているものだ。商品のように、内容説明を求められた途端に陳腐^アと化すものとも言える。「それなりに書けている」という評定もすっかり偉そうなのだが、ある程度偉そうにならなければ、「ランデブー」以外の作品を落とすことができなくなってしまう。設定も、展開も、文章力もそれなりにあり、とにかく無難に読ませる。そういう「それなり」をセイサ^イする基準を先輩編集者に求めても、明文化してくれない。むしろ、しつかり明文化され、遵守されてしまうようであれば、小説なんて概ね必要ではなくなってしまう。

「それなり」がどれほどのものなのか、ひとまず自分の中で輪郭^Ｂをつくり、受け止めてみるしかない。作品を個人で受容しながら、公的に切り捨てるのだから、その判断というのはYの連続になる。封筒を開けて「ランデブー」が登場すると、むしろ安堵^イする。文学賞の選考委員が、時に「この人の別の作品も読んでみたい」とか「この人は小説を書き続けてくれる」とか「小説に選ばれた存在」とか、作家が歩む先を見据えた選評を下すことがあるが、とりわけ新人賞の場合は、この作品で全てを出し切ったというわけではないのだらうと期待させることが必要になる。独房で徐々に体得していったことのひとつに、「すでに完成している物語から、この人はこれからいくつもの物語を構築できる能力を持っているのかどうか、推察する」がある。これもまた明文化が容易ではないが、小説の骨組みと枝葉のバランス、定型文と比喩の絡み合い、置かれた状況の動かし方などなど、小説を立体的に読み解きながら、その立体物をどれだけ柔軟に動かそうと試みているか、見定めていく。

どんな創作物にも「ベタ」と呼ばれるものがある。しかし、その形は固定されているわけではない。ありきたりな展開、いくらだつて繰り返されてきた内容のことを指す「ベタ」だが、その姿が常に共有されているわけでもない。『〇〇鉄道殺人事件』などと銘打たれる二時間サスペンスドラマを繰り返し見ている人は、新聞のラテ欄^注を見るだけで犯人が誰かわかってしまう、という笑い話を聞いたことがある。あの手のドラマは、開始から一時間半過ぎた頃に意外な犯人が発覚するのを一つの型としている。

必ず、や、つ、て、く、る、意、外、性、を、型、に、し、て、い、る、の、で、つ、ま、り、意、外、で、は、な、い。シ、リ、ー、ズ、も、の、に、な、れ、ば、刑、事、役、の、主、役、の、他、に、い、つ、も、の、メ、ン、バ、ー、が、い、る。あ、る、殺、人、事、件、が、起、き、る。第、一、発、見、者、が、い、る。被、害、者、の、婚、約、者、が、い、る。悲、し、む、親、友、が、い、る。恨、み、を、持、つ、て、い、た、同、僚、が、い、る。怪、し、い、の、は、誰、か。ラ、テ、欄、に、載、つ、て、い、る、四、五、番、目、く、ら、い、の、人、だ、ろ、う、と、あ、た、り、を、つ、け、る、と、実、際、に、そ、の、人、が、犯、人、だ、つ、た、り、す、る。ど、ん、で、ん、返、し、を、お、約、束、し、ま、す、と、い、う、抜、群、の、安、定、感、が、視、聴、者、に、負、荷、を、か、け、ず、に、提、供、さ、れ、る。大、海、を、見、下、ろ、す、崖、に、や、つ、て、来、る、と、や、つ、ば、り、ど、ち、ら、か、突、き、落、と、さ、れ、る、の、だ、ろ、う、か、と、身、構、え、る。で、本、当、に、突、き、落、と、さ、れ、る、の、で、あ、る。「ラ、ス、ト、五、分、目、を、離、す、な!」と、誘、わ、れ、る、よ、う、な、映、画、か、ら、は、冒、頭、五、分、で、目、を、離、し、た、く、な、る、シ、ョ、ウ、ブ、ン、の、は、こ、ち、ら、の、感、情、を、統、率、さ、れ、る、よ、う、な、氣、が、す、る、か、ら、だ、が、こ、こ、ま、で、ベ、タ、を、清、々、し、く、ス、イ、コ、ウ、す、る、シ、リ、ー、ズ、で、は、そ、の、都、度、の、差、異、を、探、し、出、す、こ、と、で、感、情、が、動、か、さ、れ、る。「そ、れ、な、り」と、い、う、の、は、「ベ、タ」で、は、な、い。む、し、ろ、「ベ、タ」か、ら、な、ん、と、な、く、逃、避、し、よ、う、と、試、み、る、手、つ、き、が「そ、れ、な、り」で、あ、る、時、そ、の、小、説、の、良、し、悪、し、を、判、別、す、る、こ、と、が、難、し、く、な、る。読、み、進、め、て、い、き、私、が、紡、い、だ、物、語、で、は、な、く、誰、か、つ、ぼ、く、な、ろ、う、と、す、る、姿、勢、が、小、ず、る、く、光、り、出、す、と、そ、れ、は、や、つ、ば、り「ラン、デ、ブ、ー」と、同、じ、道、を、辿、る。

〔武田砂鉄「わかりやすさの罪」表記改変〕

注 1 ラジオ・テレビの番組情報を掲載する欄。

問一 線部(ア〜エ)と同じ漢字を用いるものを、次の中からそれぞれ一つ選びなさい。

- 14 ア ① シンザンユウコク。
② ナイユウガイカン。
③ 犯罪をユウハツする。
④ リョウユウ並び立たず。
- 15 イ ① セイダクあわせもつ。
② ジセイシンを失う。
③ セイリョクテキに取り組む。
④ キンセイのとれたデザイン。

- 16 ウ ① 依頼をショウダクする。
② ショウコリもなく失敗する。
③ ショウシンをいやす。
④ ショウジン料理。
- 17 エ ① 文章をバツスイする。
② スイリ小説を読む。
③ 新たな思想をコスイする。
④ 業務をカンスイする。

問二 線部(A〜C)の語句の意味として最も適切なものを、次の中からそれぞれ一つ選びなさい。

- 18 A ① 悪趣味であるさま
③ 異様であるさま
② ありふれているさま
④ 単純であるさま
- 19 B ① 明確な基準
② 細部の構成
③ 大まかな枠組み
④ 綿密な計画
- 20 C ① 理解すること
② 刺激すること
③ 制御すること
④ 分析すること

問三 (X・Y)に入る語を、次の中からそれぞれ一つ選びなさい。

- 21 X ① 折り合い
② 落としどころ
③ 算段
④ 通信簿
- 22 Y ① 期待
② ためらい
③ へつらい
④ 気休め

問四 — 線部Ⅰ「むしろ安堵する」の理由として最も適切なものを、次の中から一つ選びなさい。

23

- ① 作品に対して緊張しながら向き合う必要がないから。
- ② 作品への対応方法が明文化されているから。
- ③ その書き手の将来性を容易に想像することができるから。
- ④ 典型的な作品には読み手も没入しやすいから。

問五 — 線部Ⅱ「それはやっぱり「ランデブー」と同じ道を辿る」の理由として最も適切なものを、

次の中から一つ選びなさい。

24

- ① 「それなりに書けている」作品でも、創作物である以上は完全に「ベタ」を回避することは不可能であるから。
- ② 結末部分に意外性を盛り込むことができなかったら、結局はありきたりな展開の物語に落ち着いてしまうから。
- ③ 「ランデブー」以外の作品でも、創作の論理を明文化できなければ「それなり」の域を抜け出すことはできないから。
- ④ 一見すれば「それなり」の作品でも、他作家の模倣に甘んじる姿勢が見えれば、最低限のラインには達しないから。

問六 問題文の内容に合致するものを次の中から二つ選びなさい。

25

- ① 男性の妄想を具現化したような「ランデブー」は明らかに時代に逆行しているが、その中にも「それなりに書けている」小説は存在する。

26

- ② 筆者は文芸誌の新人賞の選考に関わった経験を通して、「それなりに書けている」小説の判別方法は容易に明文化できないものであることを知った。
- ③ 小説の新人賞の選考においては、作品自体の優劣そのものよりも、旧来の規範から逸脱しようとする姿勢が評価の基準となる。
- ④ 文学賞の選考に残るためには、常にすべての実力を出し切りながら書き続けられる作家であると期待される必要がある。
- ⑤ 定型化を拒む小説というジャンルとは対照的に、二時間サスペンスドラマで展開される物語には明文化された規範が存在する。
- ⑥ 小説の良し悪しを判別するうえでは、書き手に類型化を回避しようとする姿勢があるかどうかを見きわめることが重要になる。

次の問題文を読み、後の問いに答えなさい。

27

36

の解答は解答欄にマークしなさい。

土佐の国へ行きし時^a、城下より三里ばかりこなたにて、雨いとう降り出^いでて日さへくれぬ。道より二丁ばかり右の山の麓に、いぶせき庵^{いばり}の見えけるを行きて宿乞ひけるに、としの頃四十ばかりなる僧のひとり炉をかこみ居りしが、「食ふべきものもなく風^Aふせぐべきふすまもあらばこそ。」といふを、「雨だにしのぎはべらん外に何をか求めはべらん。」と、強ひてやどかりてさ夜更くるまで相對して炉をかこみ居るに、この僧初めにものいひしより後は一言もいはず、坐^ざ禪するにもあらず。睡^ねるにもあらず。口のうちに阿弥陀ぶつと唱ふるにもあらず。何やうの物語してもただ微笑するばかりにて有りし^b。おのれおもふやう、こは狂人ならめと。その夜は炉のふちにいてねて曉にさめて見れば、僧も炉のふちに手枕してうまくいね居りぬ。さてあけはてぬれど、雨はなほ宵よりもつよくふりて起^たち出づべふやうもなれば、「晴れずともせめて小雨にならんまで宿かしたまひてんや。」といふに、「いつまでなりとも。」と答へしは、きのふ宿かせしにもまさりてうれしかりし。日の巳^Iの刻過ぐる頃に、麦の粉湯をかきたててくはせたり。さて、この庵のうちを見るに、ただ持仏堂に木像の如来ひとつたてると、窓のもとにささやかなるおしまづきを居^{すま}て、その上にふみ二巻置きたるより外何ひとつ貯^{たくわ}へもてりとも見えす。この書何の書にやと見れば、唐刻の『莊子』なりし。その書のなかに、この僧の作と見えて古詩を草書にてかけるがはさまりあり。から歌^{注2}ならはねばその巧拙は知らざれども、その草書の見事なる事目を驚かすばかりなるゆゑ、笈^{あひ}のうちの扇二本取り出でて賛を乞ひけるに、言下に筆を染めぬ。一つは梅に鶯^{うぐいす}の絵、一つはふじの絵なりしが^c、今はその賛はわすれたれど、ふじの絵の賛の末に、かくいふものは誰ぞ越州^{注3}の産^{うぶ}了^{りょう}寛書すと有りしをば覚え居りぬ。その日も又暮れ近きに雨はなほ時^イじくにふりてやまざりしにぞ。その夜もきのふのごとく、僧もともに炉のかたはらにいてねしが、明くればいつしか空はれて日のひかりかがやきぬ。例の麦の粉くらひてたち出づる時、一夜の報謝の為にいささか銭を与へけれど、^B「かかるもの何にかはせん。」とうけひかず。そのころさし戻らんもほいならねば、引きかへて紙と短尺^{さく}を与へければ、よろこびてうけ納めぬ。

こは、今ははや五十年余りむかしの事なるが、ちかきとし橘茂世^{注4}とかいへるものの著はせし『北越奇談』と題せしふみに、「僧了寛は、越後の国橘何某^{なにがし}といふ豪家の太郎子なるが、幼き時より書をよむ事ばかりを嗜^{たしな}み、殊に能書なりしが、古人の風を慕ひ、さしも富貴の家を嗣^{つぎ}ぐ事をいとひ、終に遁世^{とんせい}して行方しれず」と。はたその家に有りし時の事どもつばらにするせしを見れば、かの土佐の国にて逢^あひし僧こそはと、すずろにそのむかしおもひ出でられて一夜寝覚めの袖をしぼりぬ。

〔寝ざめの友〕

注 1 机。

2 漢詩。

3 良寛。越後国出雲崎の禅僧。詩歌を多く残す。

4 橘崑庵茂世。越後国の文人。

問一 ― 線部（ア～ウ）の語句の意味として最も適切なものを、次の中からそれぞれ一つ選びなさい。

27

ア ① 心ひかれる ② おどろおどろしい ③ 丈夫そうな ④ みすばらしい

28

イ ① 時折 ② 段々と ③ ずっと ④ ちょうどその時

29

ウ ① 残念なので ② 意外なので ③ もったいないので ④ 腹が立つので

問二 — 線部 (A、C) の口語訳として最も適切なものを、次の中からそれぞれ一つ選びなさい。

30

A

- ① 風をふせぐための夜具もあれば泊めてあげられるが
- ② 風をふせぐための夜具が見つければ泊めてあげよう
- ③ 風をふせぐための夜具も用意してあるので泊めはするが
- ④ 風をふせぐための夜具をあなたが持っているなら泊めよう

31

B

- ① こんなものをどうするつもりなのか
- ② こんなもので満足できようか
- ③ こんなものが何になるだろうか
- ④ こんなものをどこで手に入れたのか

32

C

- ① 寝入りしなに、悔恨の涙にくれたことであつた
- ② 寝起きに驚きのあまり、袖を涙にぬらしてしまった
- ③ 強い悲しみを感じ、起きぬけに涙が止まらなくなった
- ④ 眠りから覚めて、懐かしさに涙を流したことであつた

問三 — 線部 I 「巳の刻」が指す時間帯を、次の中から一つ選びなさい。

33

①

午前八時頃

② 午前十時頃

③ 午後二時頃

④ 午後六時頃

問四 — 線部 (a、d) 「し」のうち品詞が異なるものを、次の中から一つ選びなさい。

34

①

a

② b

③ c

④ d

問五 問題文の内容と合致するものを、次の中から一つ選びなさい。

35

①

筆者は、『北越奇談』を読んだことをきっかけに僧に出会ったことを思い出した。

②

筆者は、何も話さず微笑する僧を狂人だと思い、早々に庵を立ち去ることにした。

③

孤独をもてあましていた僧は、悪天候を理由にして先を急ぐ筆者を引き留めた。

④

筆者は、僧が有名な人物であることを知って、扇に賛を書いてもらった。

問六 『寝さめの友』と同じく江戸時代に成立した作品を、次の中から一つ選びなさい。

36

①

海道記

② 三冊子

③ 太平記

④ 今昔物語集